予約したメンズエステに行ったらスタッフが初恋の女の子で、短小チンポを見られて笑われた話

中学時代の想い出が、予想外の形で蘇った日のことを語ろうと思います。

僕がその時好きだった子の名前は瑞穂。想いを伝えたのは2度だけ。2年生の夏休みと、卒業式の後に。2度とも彼氏がいるからとのことでお断りされた。それから連絡を取ることもなく、ただの遠い昔の記憶となっていた。

20代半ばを過ぎた頃、仕事のストレス解消と性欲の発散を理由に、メンエスをネットで予約した。正直風俗やピンサロには飽きてい

て、逆にメンズエステでのソフトなエロを味わってみたかったのだ。受付を済ませ、案内された個室で待っていると、白い制服の女性が入ってきた。

最初はただのスタッフだと思った。だが顔を上げた瞬間、呼吸が止まった。瑞穂だった。中学の頃より少し大人びていたけれど、間違いなく彼女だ。

「山中くん……？だよね？」

彼女の方が先に気づき、目を丸くしたあと、照れたように笑った。

「こんなところで再会するなんて、すごいね。今日の担当、私なんだ」